

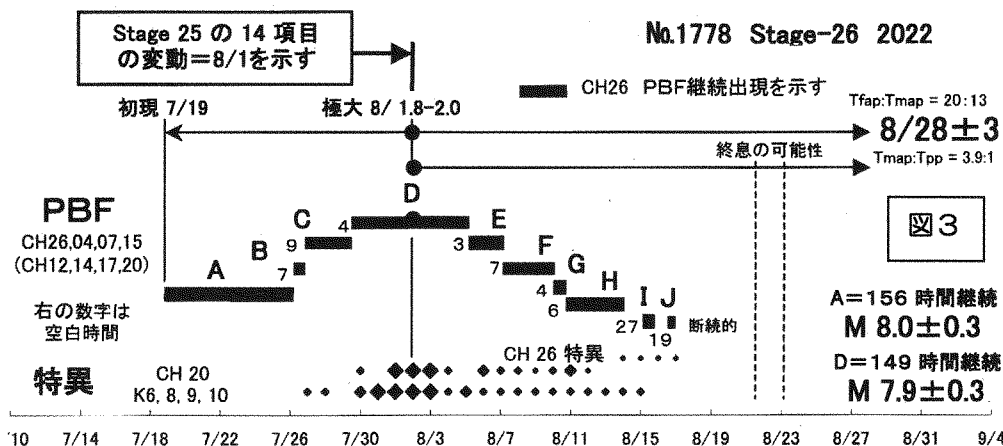
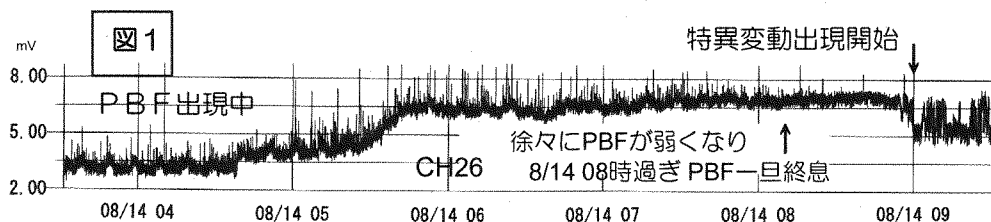
PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778 長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

続報 No.334

2022.08/17 (水曜) 15:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

No.1778 続報 CH26 弱い特異に変化 PBFは断続的出現に 高知観測点特異=終息の可能性 CH26 弱い特異 8/21-23 終息すれば 8/29±2 発生の可能性



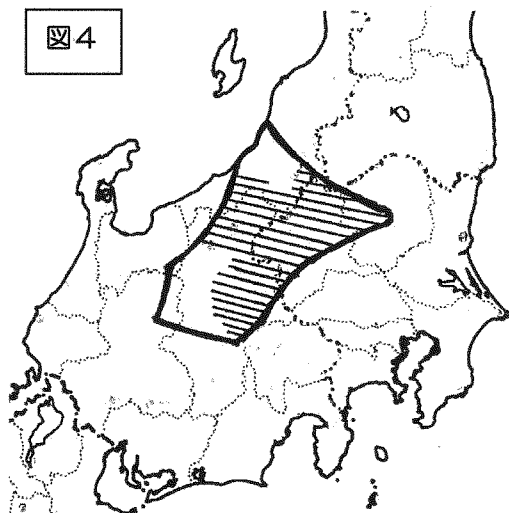
7/19から出現した八ヶ岳のCH26-PBFは8/14朝08時過ぎ一旦終息し、09時から基線にザビザビとした弱い特異変動が出現しました。図1参照。

その後は図1基線の最後より弱い特異変動が継続しながらPBFが無い長い空白時間を挟んで、断続的なPBF出現に変化。PBF出現間隔(空白時間)が長くなり、PBF出現継続時間も短くなってきました。便宜上図3のJとしているPBFも今後の断続的出現の状況でIに統一する可能性も有。図3の8/11以降のPBF出現は図3の下に記したとおりです。現在はPBF終息中。CH26の弱い特異のみ継続中。

高知観測点のK9, K10は既に静穏化。図2のとおり、K8の特異変動も8/15の18時前特異終息。K6も終息の可能性。現状、高知観測点の特異変動は終息した可能性もあります。

PBFも断続的出現になり、高知観測点の複数特異も静穏化。現在の主な変動であるCH26の弱い特異が終息すれば発生日を確定推定可能。8/21~23に終息するか注意して観測します。

6時間空白後 H PBF 85時間出現
27時間空白後 I PBF 20時間出現
19時間空白後 J PBF 8時間出現
8/17 11時~現在はPBF終息中



No.1778 対応地震 推定内容

- ◆推定領域：図4太線内領域(火山近傍領域)
斜線域=可能性考え易い参考推定領域
- ◆推定規模：M8.0±0.3
地震に伴う近隣火山活発化or噴火=完全否定は困難
- ◆推定時期：2022年 8月28日(誤差：8/29±2)の可能性
8/21~23前兆変動終息するか確認して修正予定
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◇推定発生時刻：AM 9:00±2 又は PM 5:00±3